

令和6年度第2回東松島市総合教育会議

日 時 令和7年3月17日（月）
午後3時から

場 所 東松島市役所301会議室

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥 美 巖

3 議題

(1) 報告事項

- ①令和6年度「友好都市東京都大田区子ども交流事業」及び「北方領土青少年等現地視察」について
- ②全国体力・運動能力調査の結果及び本市の体力向上について
- ③令和7年度教育関係事業について
- ④朗唱暗唱撰集「読書三到」について

(2) 協議事項

東松島市が目指す家庭教育支援

～令和6年度東松島市社会教育委員会議からの提言を受けて～

(3) その他

児童生徒数の推移について

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

出席者名簿

役 職 名	氏 名
市 長	渥 美 巖
教 育 長	志小田 美 弘
教 育 委 員 (教育長職務代理者)	木 村 和 彦
教 育 委 員	福 田 ゆかり
教 育 委 員	鹿 野 あい子
教 育 委 員	松 岡 勝 久

【教育委員会部局】

役 職 名	氏 名
教育部長	山 縣 健
学校教育管理監	渥 美 眞佐男
教育総務課長	樋 熊 利 将
生涯学習課長	五ノ井 勝 浩
教育総務課指導主事	小 山 晴 美
教育総務課指導主事	前 田 尊 央
教育総務課長補佐	千 葉 純 一
教育総務課教育総務係長	菅 原 小百合
教育総務課学校教育指導員	青 山 博 之

【市長部局】

役 職 名	氏 名
副市長	八 木 哲 也
総務部長	勝 又 啓 普
保健福祉部長	柏 木 淳 一
総務課長	奥 田 和 朗
子育て支援課長	石 森 勝
健康推進課長	梶 原 智栄子
総務課長補佐	木 村 薫
総務課市長公室長	柴 田 やす子
総務課市長公室長補佐兼秘書広報係長	山 田 美佐子

大田区子ども交流事業について

1 事業の目的

夏休み期間を利用して本市の友好都市である東京都大田区を訪問し、大田区の子ども達とのづくりを通じた交流を行うとともに、日本の政治、経済、文化の中心である東京において、本市と所縁のある企業の施設見学等を行い、子ども達の見聞を広げることを目的とし、今年度から新たに実施いたしました。

2 参加児童 東松島市内小学校5年生 18人

3 日 程 令和6年7月30日（火）から8月1日（木）2泊3日（※別紙行程表）

4 移動方法 市バス利用

5 負担金 5,000円

6 宿泊先 大田区青少年交流センター「ゆいっつ」
住 所 大田区平和島四丁目2番15号

7 日程等

(1) 1日目

①マースク社 コンテナ集積施設 表敬訪問・施設見学（神奈川県横浜市）
デンマークに本拠を置く世界的なコンテナ船の海運会社であるマースク社の横浜支店で小学5年生の社会科でも習う、港湾と海運について学ぶほか、施設見学を実施。

(2) 2日目

①子ども交流 麦わら細工（東京都大田区青少年交流センター「ゆいっつ」）
大田区で生活をしている同世代の小学生とともに大田区の伝統工芸「麦わら細工」を作る作業をすることで、大田区の児童と友情と親睦を深めるとともに、大田区の文化を学ぶ。

②東京スカイツリー見学（東京都墨田区）

日本のシンボルの1つで世界一の高いタワーである「東京スカイツリー」から、日本の中心「東京」を見学。

(3) 3日目

①羽田空港 JALスカイミュージアム見学（大田区羽田空港）

大田区に所在する日本で最も大きい空港、「東京国際空港」通称「羽田空港」に隣接するJALスカイミュージアムで、日本の航空の歴史などを学び、昼食はJAL航空機で実際に提供されている機内食を実食。

旅 程 表

2024年7月29日

日次	月 日	行 程	泊
1	7月30日	<p>東松島市コミュニティセンター 7:00～出発式/7:15出発 (集合6:50)</p> <p>三陸道/東北自動車道/首都高速 矢本I.C 途中昼食1回、トイレ休憩2回</p> <p>南本牧ふ頭I.C</p> <p>館内移動 館内移動 館内移動</p> <p>首都高速 一般道 マースク株式会社横浜支店 平和島出口 大田区青少年交流センター「ゆいっつ」 15:50着 14:15着14:25～15:15 (15:25発)</p> <p>館内移動 館内移動 振り返り 夕食/オリエンテーション</p>	一般道
2	7月31日	<p>館内移動 館内移動 移動 「ゆいっつ」第2研修室 第1研修室 第2研修室 「ゆいっつ」前駐車場 7:10～朝食/予定確認 9:00～12:00 12:15～13:00 13:20出発 (7:00分集合) 子ども交流/麦わら細工 昼食 首都高 (13:15集合)</p> <p>館内移動 館内移動 一般道 鈴ヶ森入口 駒形C出口 東京スカイツリー 駒形入口 平和島出口 「ゆいっつ」 首都高速 13:55着 14:00～16:30 施設見学/おみやげ</p> <p>館内移動 移動 一般道 「ゆいっつ」内第2研修室 各部署 「ゆいっつ」前駐車場 JALスカイミュージアム 空港中央IC 7:10～朝食/予定確認 片づけ/出発準備 8:45出発 9:10着 9:15～12:30 (7:00分集合) (8:40集合) 施設見学/昼食/おみやげ</p> <p>館内移動 移動 一般道 首都高速/東北自動車道/三陸道 東松島市役所 矢本庁舎前駐車場 18:30着 到着式 19:00解散</p>	一般道
3	8月1日	<p>トイレ休憩3回</p>	



1日目：出発前（コミュニティセンターで）



1日目：マースク株式会社見学



2日目：子ども交流/麦わら細工



2日目：東京スカイツリー見学



3日目：羽田空港見学



令和6年度 北方領土青少年等現地視察について

1 事業の趣旨

北方領土返還要求宮城県民会議が構成した青少年等現地視察団を北方領土隣接地域に派遣し、青少年に北方領土を視察してもらい、北方領土問題を身近な問題として返還要求運動の確実な継承を図ることを目的に実施するもの。

令和6年度は、本市を会場に第43回「北方領土の日」宮城県東松島集会在開催されることから、市内中学生18人が視察研修に参加し、令和7年2月7日の東松島集会当日は、視察研修内容について発表を行いました。

2 実施主体 北方領土返還要求宮城県民会議（事務局：宮城県総務部広報課）

3 実施期間 令和6年8月7日（水）～9日（金）2泊3日

4 視察団員数 東松島市内中学生18人、引率教諭3人 東松島市教育委員会職員1人、東松島市総務課職員1人 宮城県職員3人 計26人

5 実施内容 北方領土の望見、北方領土啓発施設の見学など

6 視察地域 北方領土隣接地域（根室市、標津町）



令和6年度北方領土青少年現地視察 日程表

行先		北海道（根室市、中標津町等）				
期間		令和6年8月7日（水）～9日（金）				
日付	時間	スケジュール	食事			
			朝	昼	夕	
1	8月7日 （水）	6:45 東松島市役所（矢本庁舎）集合				
		市バス乗車				
		7:00 東松島市役所発				
		8:30 仙台空港着 出発式				
		9:30 仙台空港→新千歳空港（10:45着） ANA4801便				
		（昼食）新千歳空港内 小樽ニュー三幸				
		12:15 新千歳空港→①根室中標津空港（13:05着） ANA4883便				
		13:15 貸切バス乗車				
		<休憩>②道の駅スワン44ねむろ				
		15:30 <見学>③納沙布岬（齒舞群島を一望、四島のかげ橋、きぼうの鐘、北方館など）（17:00まで）				
17:30 ④根室イーストハーバーホテル TEL:0153-24-1515						
2	8月8日 （木）	8:45 ホテル発				
		9:00 <見学>⑤北方四島交流センター ニ・ホ・ロ（施設見学・語り部）（11:30まで）				
		11:45 （昼食）根室おさかな食堂				
		13:00 <船内研修>⑥根室港（13:45まで）				
		<車窓から見学>風連湖・根室湾				
		15:00 <見学>⑦北方領土館（15:20まで）				
		15:30 <見学>⑧標津サーモン科学館（専門員の案内で見学）（16:30まで）				
		17:00 <見学>⑨開陽台の展望台（17:20まで）				
17:40 ⑩ホテルマルエー温泉俵橋 TEL:0153-78-7888						
3	8月9日 （金）	8:15 ホテル発				
		8:35 ①根室中標津空港着				
		9:30 根室中標津空港→新千歳空港（10:25着） ANA4882便				
		（乗り換え）				
		13:30 新千歳空港→仙台空港（14:40着） ANA4806便				
		15:30 仙台空港発				
		17:00 東松島市役所（矢本庁舎）着 ※到着時間は多少前後する場合があります。				
解散						



1日目：四島のかげ橋



1日目：納沙布岬



1日目：北方館



2日目：北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）



2日目：元島民の講話



2日目：「えとぴりか」船内研修

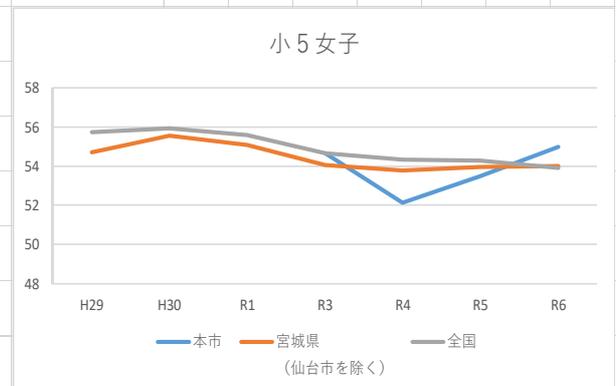
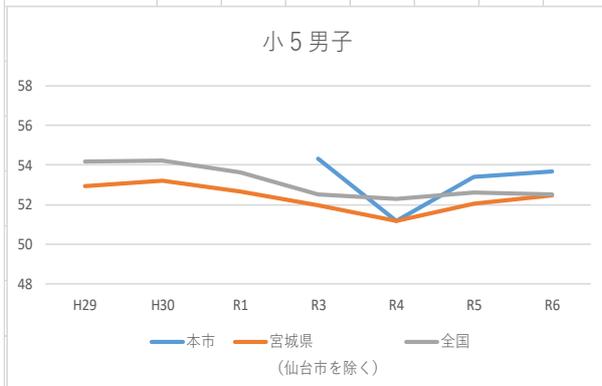
2月7日（金）開催 第43回「北方領土の日」宮城県東松島集会
北方領土青少年等現地視察体験発表



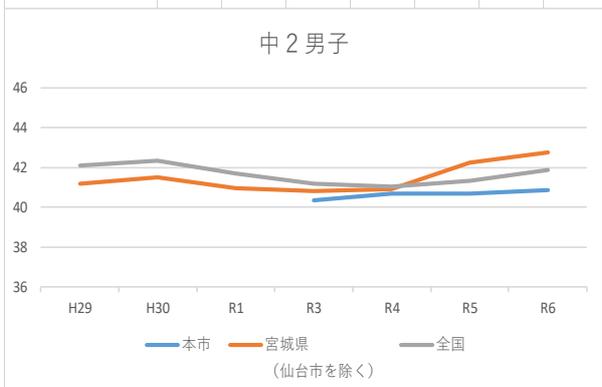
全国体力・運動能力調査結果について

【調査8種目の合計点の経年変化】

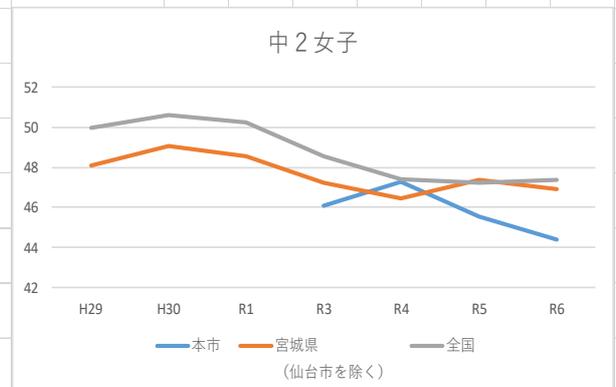
小学校5年生男子								小学校5年生女子							
小5男子	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6	小5女子	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6
本市				54.34	51.16	53.38	53.69	本市				54.66	52.13	53.51	54.99
宮城県 (仙台市を除く)	52.94	53.22	52.66	51.98	51.15	52.03	52.45	宮城県 (仙台市を除く)	54.72	55.54	55.06	54.06	53.76	53.97	54.00
全国	54.16	54.21	53.61	52.52	52.28	52.59	52.53	全国	55.72	55.90	55.59	54.64	54.31	54.28	53.92



中学校2年生男子							
中2男子	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6
本市				40.36	40.69	40.69	40.84
宮城県 (仙台市を除く)	41.20	41.50	40.95	40.82	40.90	42.26	42.77
全国	42.11	42.32	41.69	41.18	41.04	41.32	41.86



中学校2年生女子							
中2女子	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6
本市				46.08	47.26	45.54	44.42
宮城県 (仙台市を除く)	48.11	49.03	48.54	47.23	46.47	47.37	46.90
全国	49.97	50.61	50.22	48.56	47.42	47.22	47.37



※8種目は、握力、状態起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ(中学校はハンドボール投げ)

【考察】

○本市小学校5年生の平均点は、令和4年度に一時落ち込んだものの、令和6年度については男女とも全国平均・県平均を上回っている。

▲本市中学校2年生の平均点は、令和4年度に全国平均との開きが縮まったものの、その後の2年間は全国平均・県平均を下回っている。

○調査種目別に見ると、小学校では長座体前屈と反復横跳びの数値が全国平均よりも高い傾向にある。

▲小・中学校とも、シャトルラン、50m走、立ち幅跳びに課題が見られ、特にシャトルランと立ち幅跳びは全国平均との開きが大きい。

★全国調査の対象学年が小学5年生と中学2年生となっており対象となる児童生徒は毎年異なるが、種目別の結果では毎年同じような傾向が見られる。数値を向上させるためには、脚力の鍛錬と、持久力、瞬発力の強化が必要。

【今後に向けて】

★全国的にコロナ禍前の状態までには回復しておらず、課題として運動時間の確保や運動意欲の向上、生活習慣の改善等が挙げられていることから、本市では以下の取組を推進していく。

(1)運動機会の創出

- ・外遊びの奨励 ・校内イベントの開催 ・8460チャレンジの活用
- ・運動に取り組みやすい環境整備

(2)体育の授業の充実

- ・運動の楽しさを味わわせる授業の実施 ・運動への意欲を高める授業の実施
- ・体力・運動能力の向上を意図した授業の実施 ・地域指導員の活用

(3)体力・運動能力向上プロジェクトシートを活用

- ・各校の実態に応じた目標や手立ての設定 ・全教職員の意識高揚

(4)生活習慣の見直し

- ・「でめこん」と関連させた家庭への働き掛け
(食生活、運動機会、睡眠時間、スクリーンタイム等の見直し)

令和7年度教育関係事業について

1 ハード事業

(1) 大曲小学校校舎改築事業 1,431,510 千円

- ・事業内容:校舎の改築 RC造3階建、延べ面積約4,139 m²
仮設校舎リース (リース期間:令和5~8年度)
- ・事業期間: 令和5~8年度 (工事期間は、令和6~7年度)
- ・総事業費: 2,721,701千円
- ・令和7年度事業費
: 工事費1,383,064千円、工事監理業務23,100千円、仮設校舎借上料25,346千円
- ・財源: 防衛施設周辺防音事業補助金、学校教育施設等整備事業債等

(2) 矢本東小学校冷温水発生機改修事業 147,420 千円

- ・事業内容:冷温水発生機 (空調設備) の改修
- ・工事期間:令和7~8年度
- ・総事業費: 395,764千円
- ・令和7年度事業費: 工事費112,000千円、工事監理業務2,376千円、空調設備借上料33,044千円
- ・財源: 防衛施設周辺防音事業補助金

(3) 大曲小学校太陽光パネル設置事業 69,000 千円

- ・事業内容:太陽光パネルの新設:30kw
- ・工事期間:令和7年度
- ・財源:エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金 (10/10)

(4) 鳴瀬桜華小学校太陽光パネル設置事業 71,500 千円

- ・事業内容:太陽光パネルの増設:30kw
最大発電量:既設(H29設置済)10kw + 増設(R7)30kw = 合計40kw
- ・工事期間:令和7年度
- ・財源:エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金 (10/10)

(5) 鳴瀬未来中学校太陽光パネル設置事業 65,000 千円

- ・事業内容:太陽光パネルの増設:30kw
最大発電量:既設(H29設置済)10kw + 増設(R7)30kw = 合計40kw
- ・工事期間:令和7年度
- ・財源:エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金 (10/10)

(6) 図書館増築・改修事業 176,640 千円

- ・事業内容:〔改修〕既存施設面積約1,000 m² (空調設備、建具、内外装、電気設備ほか)、
〔増築〕RC造2階建、延べ面積約340 m² (1階:開架スペース、2階:学習室)
- ・工事期間:令和6~7年度
- ・総事業費: 296,460千円
- ・令和7年度事業費: 工事費168,170千円、工事監理業務8,470千円
- ・財源: 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金、合併特例債

(7) 文化財収蔵施設等整備事業 163,354 千円

- ・事業内容:収蔵庫増築 (RC造2階建(積層棚構造) 延べ面積 約400㎡)
- ・工事期間:令和6～7年度
- ・総事業費:265,065千円
- ・令和7年度事業費:工事費156,000千円、工事監理業務7,354千円
- ・財源:過疎対策事業債

(8) 鷹来の森運動公園大規模改修事業 469,359 千円

- ・事業内容:屋外運動場(A～D球場)等の改修
本部棟、スタンド、ダッグアウト、バックネット、照明設備、管理棟、トイレ棟ほか
- ・工事期間:令和6～7年度
- ・総事業費:721,644千円
- ・令和7年度事業費:工事費456,654千円、工事監理業務12,705千円
- ・財源:防衛施設周辺整備統合事業費補助金、合併特例債

2 ソフト事業

(1) 学力向上推進事業 6,365 千円 (※人件費を除く。)

- ・協同的な学びの充実研修会、教師塾等の教員研修会の開催
- ・標準学力調査(4月、12月)の実施 (小学校:国語・算数/中学校:国語・数学・英語)
- ・教科教育指導員(英語1人)の配置 (小学校全8校が教育課程特例校の指定)
- ・小学生英語検定チャレンジ事業の実施(事前学習会の開催、英語検定の受験)
[R6受験結果] 5級 29人受験、22人合格 合格率75.9%
4級 26人受験、14人合格 合格率53.8%

(2) 小中学校語学指導(ALT)事業 23,100 千円

- ・小中学校に5人配置
- ・英語教育、外国語活動、国際理解教育における指導 ほか

(3) 小中学校連携教育推進事業 225 千円

- ・子ども未来サミットの開催
- ・小中学校連携教育推進委員会及び担当者会議の開催、先進地の視察

(4) 特別支援教育事業 298 千円 (※人件費を除く。)

- ・特別支援教育支援員(31人)の配置
- ・ことばの教室への通級指導
- ・特別支援教育コーディネーター研修会の開催

(5) 教育支援センター運営事業(子どもの心のケアハウス)2,915 千円 (※人件費を除く。)

- ・相談業務、学習支援、学校復帰に向けた適応指導 ほか
- ・所長(1人)、学び指導員等(4人)、不登校相談員(3人)の配置

(6) いじめ・不登校対策事業 1,105 千円 (※人件費を除く。)

- ・いじめ問題等対策連絡協議会、いじめ問題対策調査委員会の運営
- ・学校教育指導員(2人)の配置
- ・スクールカウンセラーの派遣(県事業)

(7) 中学校部活動地域移行事業 1,008 千円

- ・中学校合同部活動「ひがまつALL」の実施（10月～3月、月1回）
部活動名：剣道部、サッカー部、ソフトボール部、軟式野球部、女子バレーボール部
指導者の派遣

(8) 地域間交流事業 418 千円

- ・海と大地子ども交流事業（更別村児童との交流事業）
- ・山形県東根市及び蔵王町との子ども交流事業（市制施行20周年記念事業）
- ・大田区子ども交流事業（復興政策課担当：56千円）
（本市小学5年生が大田区を訪問し、施設見学及び大田区児童との交流事業を実施）

令和7年度の学校給食費について

(1) 一食当たりの学校給食費

令和7年度における1食当たりの学校給食費は、食材費の物価高騰に対応するため、小学校で352円（前年度比較26円増）、中学校で421円（前年度比較31円増）とします。

(2) 保護者負担の軽減

本市では、子育て支援施策の一環として、市内小中学校における学校給食費の保護者の経済的負担軽減措置を令和5年度から実施しており、これまで段階的に軽減措置の拡充を図っています。

このような中、令和7年度においては、1食当たり学校給食費の3分の2程度を市費で負担することとしており、小学校で1食当たり234円、中学校で1食当たり281円を軽減します。

このことにより、一人当たり年間の保護者負担額は、小学校で22,656円（前年度比較9,984円減）、中学校で25,480円（前年度比較10,920円減）を見込んでいます。

(3) 学校給食費総額及び財源

令和7年度における学校給食費の総額は、約202,000千円を見込んでおり、そのうち市負担総額は約134,500千円で、保護者負担軽減措置を拡充することにより、前年度と比較して約43,000千円の増となる見込みであります。

その財源については、引続き「特定防衛施設周辺整備調整交付金（9条交付金）」を活用することとしており、令和7年度においては、134,500千円の充当を見込んでいます。

■学校給食費【1食当たり】

[単位:円]

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較 (R7)-(R6)
小学校	給食費	275	300	326	352	26
	保護者負担額	275	250	170	118	▲ 52
	市負担額	0	50	156	234	78
中学校	給食費	335	360	390	421	31
	保護者負担額	335	300	200	140	▲ 60
	市負担額	0	60	190	281	91

■学校給食費【一人当たり年間】

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較 (R7)-(R6)
小学校	給食費	53,900	58,500	62,592	67,584	4,992
	保護者負担額	53,900	48,750	32,640	22,656	▲ 9,984
	市負担額	0	9,750	29,952	44,928	14,976
中学校	給食費	62,310	68,400	70,980	76,622	5,642
	保護者負担額	62,310	57,000	36,400	25,480	▲ 10,920
	市負担額	0	11,400	34,580	51,142	16,562

■給食費総額及び9条交付金充当額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較 (R7)-(R6)
給食費総額		189,116,830	197,548,200	189,987,408	202,048,866	12,061,458
保護者負担総額		189,116,830	164,623,500	98,471,360	67,526,712	▲ 30,944,648
市負担総額		0	32,924,700	91,516,048	134,522,154	43,006,106
うち9条交付金充当額		0	30,000,000	91,501,000	134,500,000	42,999,000

東松島市 朗唱暗唱撰集「読書三到」 概要

1. 朗唱暗唱撰集「読書三到」作成のねらい

児童生徒が優れた文学作品や韻律の美しい詩歌を何度も声に出して読むことで、豊かな情緒に根差した深い思考力や表現力を育むとともに、生涯にわたる読書活動に生かす。

2. 掲載内容

	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
ことばあそび	5	0	0	0
現代詩	7	9	4	6
俳句・短歌	9	6	8	9
古文	4	5	4	6
漢文	2	2	5	7
漢詩	0	0	1	1
名文	0	7	7	4
知識・その他	5	0	0	0
合計	32	29	29	33

3. 体裁

- 全120ページ
- A5サイズ 右綴じ

4. 活用方法（例）

- ①朝読書・朝の会
- ②校内放送
- ③工夫した暗唱を校内で発表
- ④ファミリー読書とリンクした親子暗唱
- ⑤市図書館とのコラボレーション

小中
14

雪国

川端 康成

国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。

夜の底が白くなった。

信号所に汽車がとまった。

一九六八年にノーベル文学賞を日本人として初めて受賞した作家の川端康成。「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」という書き出しの「一節で有名な代表作『雪国』は、親縁りの財産で生活を送る妻子持ちの文筆家の島村と、雪国で出会った駒子（こまこ）という若者との交流を主軸に、複雑な人間模様を叙情的に描いた物語。小説に登場する長いトンネルとは、群馬県と新潟県を結ぶ清津トンネルのことです。

朗吟暗唱集
読書三到

目次

東松島市の小中学生のみなさんへ
この本の使い方

目次 3 2 1

小学校低学年

1	ことばあそび	作者不明	あいうえおのうた	7
2	ことばあそび	北村篤子	しっぽ	8
3	ことばあそび	谷川俊太郎	いるか	9
4	ことばあそび	清水たみ子	いないかな	10
5	ことばあそび	鶴見正夫	シャボンとズボン	11
6	ことばあそび	作者不明	早口言葉	12
7	詩	宮沢賢治	風の又三郎	13
8	詩	金子みすゞ	お日さん、雨さん	14
9	詩	金子みすゞ	わたしと小鳥と鈴と	15
10	詩	小池知子	わたしの手	16
11	詩	三好達治	土	17

小学校高学年

1	ことばあそび	阪田寛夫	年めぐり	32
2	詩	わたくもまえるうみよみかひのうた		33
3	詩	うみよみかひのうた		34
4	詩	石津ちひろ	あした	35
5	詩	原 国子	山	36
6	詩	木村信子	ぼく	37
7	名文	サンテジベリ	星の王子さま	38
8	名文	福沢諭吉	学問のすゝめ	39
9	名文	洪沢栄一	夢七訓	40
10	詩	萩原朔太郎	竹	41
11	詩	高村光太郎	道程	42
12	名文	宮沢賢治	雨ニモマケズ	43
13	名文	芥川龍之介	蜘蛛の糸	46
14	名文	川端康成	雪国	47
15	名文	島崎藤村	夜明け前	48
16	古文	清少納言	枕草子	49

中学校

1	漢詩	孟浩然	春曉	59
2	漢文	朱熹	偶成	60
3	漢文	莊子	井の中の蛙大海を知らず	61

中学校

12	詩	山村喜島	雪	18
13	知識		春の七草	19
14	知識		秋の七草	20
15	知識		十二月	21
16	知識		十二月	22
17	古文		いろは歌	23
18	古文		竹取物語	24
19	古文		古今和歌集 仮名序	25
20	俳句	松尾芭蕉		26
21	俳句	小林一茶		26
22	短歌	与謝蕪村		27
23	古文	与謝蕪村		27
24	古文	伊勢大輔		28
25	古文	与謝野晶子		28
26	古文	依 万智		28
27	古文	上杉鷹山	為せば成る	29
28	古文	孔子	論語	30
29	古文	孔子	古楽府君子行	30
30	その他		東松島市民憲章	31
31	古文	兼好法師	徒然草	51
32	古文		平家物語	52
33	古文	後白河法皇	梁塵秘抄	53
34	古文	松尾芭蕉	おくのほそ道	54
35	漢文	孔子	論語	55
36	漢文		東北にまつわる和歌	56
37	古文	寺山修司	青森県	56
38	古文	石川啄木	岩手県	56
39	古文	清原元輔	宮城県	57
40	古文	松尾芭蕉	秋田県	57
41	古文	斎藤茂吉	山形県	58
42	古文	河原左大臣源経	福島県	58

中学校

1	詩	室生犀星	小景真情	71
2	詩	谷川俊太郎	生きる	69
3	詩	世阿弥	風姿花伝	68
4	詩	工藤直子	あいたくて	72
5	詩	茨木のり子	わたしが一番れいだとき	73
6	詩	夏目漱石	香壁は猫である	76
7	詩	川端康成	伊豆の踊子	77
8	詩	志賀直哉	小僧の神様	78
9	詩	太宰 治	走れメロス	79
10	詩	芥川龍之介	吐子香	80
11	詩	ミヤケルミエ	モモ	81
12	詩	松尾芭蕉	おくのほそ道 平泉	96
13	詩	紀 貫之	土佐日記	97
14	詩	紫式部	源氏物語	98
15	詩	源氏物語	源氏物語	98
16	詩	源氏物語	源氏物語	98
17	詩	源氏物語	源氏物語	98
18	詩	源氏物語	源氏物語	98
19	詩	源氏物語	源氏物語	98
20	詩	源氏物語	源氏物語	98
21	詩	源氏物語	源氏物語	98
22	詩	源氏物語	源氏物語	98
23	詩	源氏物語	源氏物語	98
24	詩	源氏物語	源氏物語	98
25	詩	源氏物語	源氏物語	98

中学校

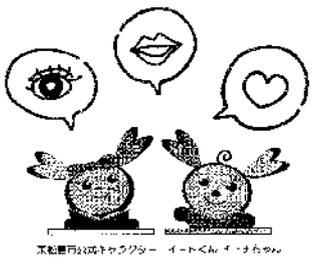
1	漢文	孔子	論語	63
2	漢文	管子		64
3	漢文	鳴 長明	方丈記	65
4	漢文		歌舞伎「勧進帳」	66
5	漢文		平家物語 扇の的①	67
6	漢文		風姿花伝	68
7	漢文		生きる	69
8	漢文		小景真情	71
9	漢文		生きる	69
10	漢文		風姿花伝	68
11	漢文		風姿花伝	68
12	漢文		風姿花伝	68
13	漢文		風姿花伝	68
14	漢文		風姿花伝	68
15	漢文		風姿花伝	68
16	漢文		風姿花伝	68
17	漢文		風姿花伝	68
18	漢文		風姿花伝	68
19	漢文		風姿花伝	68
20	漢文		風姿花伝	68
21	漢文		風姿花伝	68
22	漢文		風姿花伝	68
23	漢文		風姿花伝	68
24	漢文		風姿花伝	68
25	漢文		風姿花伝	68

中学校

1	詩	流木のり子	自分の感受性くらい	85
2	詩	宮沢賢治	永訣の朝	87
3	詩	萩原朔太郎	帰郷	89
4	詩	萩原朔太郎	旅上	90
5	詩	三好達治	大阿蘇	91
6	詩	与謝野晶子	君死にたまふことなかれ	93
7	詩	平家物語	扇の的②	95
8	詩	藤原定家	新古今和歌集	108
9	詩	藤原定家	新古今和歌集	108
10	詩	西行法師	新古今和歌集	108
11	詩	李白	静夜思	109
12	詩	孔子	論語	110
13	詩	司馬遷	史記	111
14	詩	洪自誠	菜根譚	113
15	詩	洪自誠	菜根譚	113
16	詩	洪自誠	菜根譚	113
17	詩	洪自誠	菜根譚	113
18	詩	洪自誠	菜根譚	113
19	詩	洪自誠	菜根譚	113
20	詩	洪自誠	菜根譚	113
21	詩	洪自誠	菜根譚	113
22	詩	洪自誠	菜根譚	113
23	詩	洪自誠	菜根譚	113
24	詩	洪自誠	菜根譚	113
25	詩	洪自誠	菜根譚	113

中学校

1	俳句	小林一茶		82
2	俳句	松尾芭蕉		82
3	俳句	正岡子規		82
4	俳句	高浜虚子		82
5	俳句	河東碧梧桐		83
6	俳句	水原秋櫻子		83
7	俳句	飯田蛇笏		83
8	俳句	星野立子		83
9	俳句			83
10	俳句			83
11	俳句			83
12	俳句			83
13	俳句			83
14	俳句			83
15	俳句			83
16	俳句			83
17	俳句			83
18	俳句			83
19	俳句			83
20	俳句			83
21	俳句			83
22	俳句			83
23	俳句			83
24	俳句			83
25	俳句			83



不転脚可成成ヤククシー イートくは イチオハヤル

東松島市社会教育委員の会議 提言書

「東松島市における家庭教育支援のあり方」について

令和7年3月

家庭教育は教育の原点

家庭教育は、家族とのふれあいを通して、子どもが基本的な生活習慣や生活能力、信頼感や豊かな情操、思いやり、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を担う、いわばすべての教育の出発点といえる。

◆家庭教育をめぐる背景と目的

①現在の子どもたちを支える環境

少子高齢化や家族形態・親の就労形態の多様化
社会地域におけるコミュニティ意識の変化
デジタルツールの利便性向上に伴い対面によるコミュニケーションの減少 など

②子育て世帯へのアンケート結果（子育てに関する不安）

- 経済的な不安
- インターネット・ゲームへの依存の心配
- 子どもの健康や発達についての不安
- 子どもにふれあう時間の減少
- 子どもの面倒を見てくれる人がいない など

子育て中の家庭での悩みが深まっているため相談できる環境を整える必要がある。

◆家庭教育推進のために必要なこと

①家庭・地域でのコミュニケーション（親子のふれあいの機会づくり）

親子で一緒に食事をしたり、積極的に地域活動に参加すること

②子どもの健康や発達に関して相談・学ぶ環境づくり

悩みや知りたい情報の把握と不安を相談できる場所
基本的な生活習慣を身につけるための親の学びと意識改革

親子で取り組む姿勢が必要であり、家庭教育は親の協力が必要不可欠。

◆東松島市における家庭教育の支援に望むこと

①学習機会の効果的な提供

家庭内のルールづくりにつながる親子で学習する機会
これから親となる世代への「子育て」の学びの機会
父親の家庭教育の参加を促すための学習機会

②情報提供・相談窓口の充実

手軽にアクセスできるSNS等を活用した情報発信
相談したい内容と相談先の合致
相談窓口に行くことが困難な人向けの訪問型の相談（アウトリーチ型支援）

③家庭・地域・学校との連携による支援

将来の地域の担い手である子どもたちを「地域の子ども」として見守り・育てる
見守り活動や学習サポート活動の活発化

④行政の支援体制

子育て支援者（子育てサポーター）の確保と養成
教育部局と保健福祉部局の連携による個々のケースに応じた支援
学校（保護者会）を介したアプローチによる家庭教育力の向上

家庭教育に対する親の意識改革を図るとともに、家庭の問題としてだけでなく、地域において支える仕組みや環境をつくり、親が安心して子育てや家庭教育ができるよう、支援していくことを望む。

「東松島市が目指す家庭教育支援 ～令和6年度東松島市社会教育委員会議からの提言を受けて～」

	教育総務課	生涯学習課	健康推進課
現行施策	<ul style="list-style-type: none"> ・心あったかイートころ運動 「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」 (心を育む3つの取組) 「でめこん」(生活を整える1つの実践) 	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか学級の企画・運営 ・家庭教育支援チームの設立準備 ・子育てサポーター育成(県研修会周知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・でめこんに関する動画を作成し、イートくんチャンネルで配信。母子手帳アプリや市のLINEでもお知らせ配信。動画について、健診時の資料で情報提供。 ・健診の待ち時間に動画を映し啓発。 ・健診個別相談の際に、言葉の育ちに合わせ、SNSを含めたメディアの使いの方等の育児について助言。 ・保健相談センターにポスター掲示。 ・講座や健康教室で啓発
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会、生徒会の取組 心を育む3つの取組、生活を整える1つの実践を学校、家庭、地域で積極的に展開 ・学校便り等を活用した保護者への周知 ・学校運営協議会の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・県研修修了者を中心とした支援チーム設立準備会を開催、令和7年4月1日に設立・稼働 ・支援チーム員が県研修会に参加し、技術向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を作成し9/27～母子手帳アプリで配信。9月時点アプリ登録者937名。 10/10市LINE配信開始。 ・講座等での啓発5回
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各校児童会、生徒会が中心となって、でめこん「東松島ゴール」を達成しようと努力しているが、各家庭保護者の協力が不可欠。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか学級参加者は幼稚園入園前の保護者が多数で、近年の傾向で学習よりも親子での触れ合いを伴う活動のニーズが多い ・家庭教育支援チームの活動内容の充実とチーム員のスキルアップが必要 ・家庭教育支援チームの活動場所の拡大(拠点活動プラス出前講座:学年PTA、すこやか学級、乳幼児健診時等) ・支援チーム員の確保 ・父親を対象とした学習機会が不足 ・県子育てサポーター研修周知と参加促進 ・市独自の家庭教育研修会の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健分野で全般的に関われるのは、3歳児健診が最後。親世代もデジタルに慣れ親しんでいる世代であり、親の意識改革が必要。与えすぎが良くないだけでなく、どうすればいいかまで伝える必要がある。依存問題に加えて、就学後の視力低下などの課題も見えれば保護者へ発信しやすい。



協議願いたいこと

子供の健康や発達に関わる、ゲームやSNSへの依存予防施策について

東松島市内小中学校児童生徒数の推移について

学校名	令和2年度 【A】	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (見込)	令和8年度 (見込)	令和9年度 (見込)	令和10年度 (見込)	令和11年度 (見込)	令和12年度 (見込)【B】	(増減率) B/A
矢本東小学校	466	483	466	449	444	446	413	372	357	339	337	▲28%
(再掲) 1学年	79	91	66	65	69	74	59	47	50	48	67	▲15%
大曲小学校	249	264	266	277	276	220	261	260	263	259	260	4%
(再掲) 1学年	38	51	41	54	41	26	53	43	42	49	42	11%
赤井小学校	158	149	147	146	148	149	150	151	142	137	125	▲21%
(再掲) 1学年	28	22	27	23	27	22	25	24	19	18	15	▲46%
大塩小学校	128	121	105	93	88	83	81	77	75	74	70	▲45%
(再掲) 1学年	16	16	17	9	16	11	12	10	17	8	12	▲25%
矢本西小学校	322	321	290	299	298	281	266	237	217	196	188	▲42%
(再掲) 1学年	51	50	48	47	41	39	33	24	29	28	33	▲35%
赤井南小学校	284	291	291	288	281	279	256	222	213	197	180	▲37%
(再掲) 1学年	46	53	44	47	44	46	27	23	33	30	27	▲41%
鳴瀬桜華小学校	267	268	266	257	258	251	230	211	191	169	163	▲39%
(再掲) 1学年	48	45	41	38	36	39	28	28	23	15	30	▲38%
宮野森小学校	126	130	134	135	140	136	121	117	118	109	98	▲22%
(再掲) 1学年	26	17	24	23	22	23	15	13	24	13	11	▲58%
小学校 計	2,000	2,027	1,965	1,944	1,933	1,845	1,778	1,647	1,576	1,480	1,421	▲29%
(再掲) 小1学年計	332	345	308	306	296	280	252	212	237	209	237	▲29%
矢本第一中学校	544	517	485	465	468	453	443	448	430	411	383	▲30%
(再掲) 1学年	171	150	165	150	149	151	143	154	133	124	126	▲26%
矢本第二中学校	359	344	343	332	336	349	348	362	350	359	344	▲4%
(再掲) 1学年	126	110	107	117	113	121	113	127	110	122	112	▲11%
鳴瀬未来中学校	200	196	194	186	181	193	205	216	204	190	183	▲9%
(再掲) 1学年	72	60	64	64	54	74	73	65	66	59	58	▲19%
中学校 計	1,103	1,057	1,022	983	985	995	996	1,026	984	960	910	▲17%
(再掲) 中1学年計	369	320	336	331	316	346	329	346	309	305	296	▲20%
小・中学校 合計	3,103	3,084	2,987	2,927	2,918	2,840	2,774	2,673	2,560	2,440	2,331	▲25%
(再掲) 小中1学年計	701	665	644	637	612	626	581	558	546	514	533	▲24%

※児童生徒数は、令和2年度から令和6年度については、学校基本調査（5月1日現在）の数値を表記し、
 令和7年度については、令和7年2月1日時点での入学予定者を含む児童生徒数の見込み、
 令和8年度以降については、学齢簿基準となる令和6年10月1日現在の住民基本台帳データを基にした推計値となっています。